

2026 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	国際平和の追求：オーストリア・オランダ編
担 当 者	岡松 暁子・ストックウェル エスター
実 施 時 期	2027 年 2 月 15 日（月）～25 日（木）（8 泊 11 日＋機中泊）
実 施 場 所	オーストリア（ウィーン、ウィーン郊外）、オランダ（アムステルダム、ハーグ）
協 力 機 関	国際連合ウィーン事務局、ウィーン国際センター（VIC）、在オーストリア日本国大使館、在ウィーン国際機関日本政府代表部、国際原子力機関（IAEA）、国際司法裁判所（ICJ）、国際刑事裁判所（ICC）
募 集 人 員	22 名
学 習 目 的	国際法が実際に使われている現場（大使館、国連機関、国際裁判所等）を訪れ、国際社会の秩序がどのように維持されているのかを体感する。 ウィーン会議が開催された宮殿を訪れ、外交会議について考える。また、マウトハウゼン強制収容所跡、アンネ・フランクの家等を見学し、ナチスによるユダヤ人迫害について学ぶ。 その他、外国の歴史や文化に触れ、日本を振り返りつつ、国際感覚を身に着ける。
行 程	1 日目：移動（22：45 羽田発） 2 日目：ウィーン着 3 日目：ウィーン国際センター、ウィーン国連本部 4 日目：在オーストリア日本国大使館、在ウィーン国際機関日本政府代表部 5 日目：サイバーズドルフ研究所（IAEA）（専用バス） 6 日目：マウトハウゼン強制収容所跡見学（専用バス） 7 日目：シェーンブルン宮殿、ウィーン美術史美術館 8 日目：アムステルダムに移動、アンネ・フランクの家（専用バス） 9 日目：国際司法裁判所（ICJ）、国際刑事裁判所（ICC）、国立ホロコースト博物館 10 日目：移動（アムステルダム～ブリュッセル乗継～東京）（専用バス） 11 日目：帰国（16：40 成田着） *行程に変更の可能性有り。
費 用	1. 約 59 万円 航空運賃、宿泊費、朝食代、貸切バス代、団体旅行中の税金・サービス料、成田空港施設使用料・旅客サービス料、現地空港税、燃油サーチャージ・航空保険料 等 2. その他 VIC 参加料、国立ホロコースト博物館・シェーンブルン宮殿・ウィーン美術史美術館・アンネ・フランクの家入場料、現地交通費、昼食・夕食代 等 *燃油サーチャージの額は変更の可能性有。 *為替の変動による価格変更（値上がり）の可能性有。
奨励金の カテゴリー （ 予 定 ）	海外 FS 奨励金：在学中に 1 回を限度として、最大で 9 万円 （7 万円～9 万円の見込み）

選考基準	志望理由書による。 応募者が多い場合には、面接を行う場合がある。 志望書はHoppiiのレポートフォルダーに提出すること。 事前に下記の日程で説明会を開催する。いずれの回も内容は同じ。 ①6月23日（火）12：40～ Y703 ②6月24日（水）12：40～ BT24階人間環境学部会議室 ③6月24日（水）15：30～ BT24階人間環境学部会議室 質問がある場合には、岡松まで（okamatsu@hosei.ac.jp）メールしてください。 ○応募締切 7月9日（木）
事前・事後 学習の予定	事前授業5回（各日2コマ）程度、事後授業2回（報告会を含む）。 いずれも秋学期に実施する。日程は追って連絡する。
注 意 事 項	(1)参加許可後にキャンセルをしないこと。キャンセルをした場合には、費用負担が生じる場合がある。 (2)出発までに、各自でパスポートを取得しておくこと。（有効期間が帰国日以降3か月以上あること） (3)大学から案内のある旅行傷害保険に加入すること。＊費用は大学負担 (4)国際情勢の変化や航空運賃および宿泊代の急激な高騰により、中止する可能性もある。
評 価 方 法	事前・事後講義への参加、事前学習での発表、現地での活動、事後報告会での発表、事後のレポート等により総合的に評価する。